



富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

104号

2022 (令和4年)
12月発行
広報とみや

「ガイド養成講座」の受講生が案内する 富屋の史跡・文化財巡り

11月20日(日)、天候にも恵まれ、富屋地区まちづくり連絡協議会文化活動部会の主催による「富屋の史跡・文化財巡り」が開催され、地区内外から20名の方が参加しました。

今回は、初めての試みとして、6月から7月にかけて行われた「富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座」の受講生がガイド役となり、下町・中町の史跡や文化財の説明をしながら参加者と一緒に7kmの道のりを歩きました。

当日は、20名をA班(下町～中町)・B班(中町～下町)の2班編成にして、少人数で市民センターを9時に出発。旧富屋小校門・富屋中学校跡・駒場家石蔵・下徳次郎宿跡・徳次郎城跡・徳次郎遊郭跡・古堀家石蔵窓彫刻・中徳次郎宿・徳次郎智賀都神社・見世蔵(小日野屋)・富屋尋常小学校跡・中町屋台・あざ地蔵の13か所を見学して、12時に市民センターに戻りました。あざ地蔵では、有岡さん、平野さんに民話を語っていただき、説明とはまた違った味わいがありました。

参加者からは、「普段見られない駒場家や古堀家の石蔵を見ることができ、新たな発見があった。2回目が楽しみ。」「まだまだ知らない、隠れているものがたくさんあることが分かった。」など、次回開催を期待する声が聞かれました。

見学に当たり、ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。



日光彫

趣味で充実した毎日



仕事をしていたころに見た日光彫の一彫り一彫りの繊細さに感動し、退職したらやってみたいと思ったのがきっかけです。始めてから10余年、今も週1回教室に通い、2時間半、夢中になって彫っています。作品は、テーブルなどの大きなものから、ブローチなどの小さなものまで全部で128点になりました。中でも、5か月をかけて制作した桜をモチーフにした三面鏡は、下の引き出しから上の方に伸びる枝が続くようにと無心になって彫り上げました。

日光彫の他に、ピアノを弾いたりそばを打ったり、旅の思い出をアルバムに残したりして、退職後の生活を楽しんでいます。

(下町自治会 高橋 将)

♪♪ とみやふるさとまつり (農業祭・文化祭・福祉祭) ♪♪

11月6日(日)に、「とみやふるさとまつり」が、「みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋」を実現する一つのイベントとして3年ぶりに開催されました。

今年度から、ふるさとまつり推進会議を「ふるさとまつり実行委員会」に改称し、構成委員を、富屋地区のまちづくり連絡協議会、活力あるむらづくり推進協議会、まちづくり連絡協議会文化活動部会、まちづくり連絡協議会青少年健全育成部会、社会福祉協議会の16名が地域の関係団体の協力のもと企画し、運営を行いました。



富屋に学ぶ子どもたち

○富屋特別支援学校「共に生きる」 校長 中田 誠

令和4年度は、これまでの新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、感染防止対策の徹底と協働的な学び合いの保障の両立に努めながら、子ども一人一人を大切にすることを心がけています。

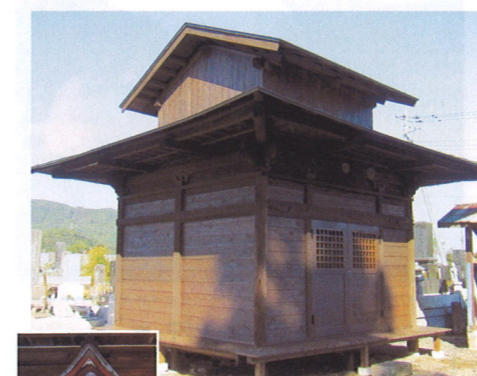
9月には、高等部の生徒と宇都宮工業高校JRC部の生徒との交流会を3年ぶりに実施しました。1年生は体育館でパラリンピック正式競技の「ボッチャ」を、2・3年生は各クラスで「ちぎり絵の共同制作」を行いました。直接的に触れ合う活動の中で、笑顔で協力し合う姿が見られ、学校の日常が戻ってきたことを大変嬉しく思いました。

10月には、キンモクセイの甘く爽やかな香りとともに、富屋地区にお住まいの方から素敵なお便りが届きました。小学部の児童が学校近隣のお店へ買物学習に行く途中のこと、ある先生が一人の児童に愛情深く接している姿をご覧になり、感銘を受けられたとのことでした。地域の方々に温かく見守っていただいている日々感謝し、教職員一同、「よし、明日も頑張ろう！」との思いを新たにしました。



ふるさと再発見 84

下町薬師堂を改修・本尊を安置



徳次郎町下町薬師寺が9月30日に改修工事を終え、創建当時の姿に蘇りました。当該薬師堂は、人々の病苦を救う薬師如来を本尊とするお堂で、下町自治会によって守られてきました。建物の形状は切妻の大屋根から、四方に弓なりの庇が取り付けられるなど、江戸時代の建築様式を残しています。建物は近年、屋根のトタン板の剥離や土台、外壁、濡れ縁などの傷みがひどくなったことから、改修工事が行われました。

工事期間中棟札が発見され、棟札には「奉普申出来上ヶ 享和三葵亥歳(1803) 願主 庄屋杉山勇右衛門「大工棟梁 大嶋安兵衛 高橋源内」と記されていました。また、延享2年(1745)に造られた逗子(写真下)の内部は、仏様が不在でしたが、この度下町有志一同によって、薬師如来と釈迦如来像が寄進、安置され、約30年ぶりに御本尊が戻りました。なお、今回の改修工事は(株)イケダが請け負いました。(文化財調査員 池田貞夫)

麦わらでホタルかごをつくったよ!

富屋小学校放課後子ども教室（にこにこ教室）の児童10名が、9月28日(水)の放課後、体育館の集会室でホタルかご作りに挑戦しました。講師の池田貞夫さんの材料の準備や丁寧な指導もあり、誰もが夢中になって取り組んでいました。児童からは、「教えてもらい、ホタルかごができて楽しかった。」という感想が聞かれました。

にこにこ教室は、児童の「生きる力」を高めることを目指し、放課後等に希望する児童を対象に、勉強やスポーツ、文化活動などを行っています。



富屋地区戦没者慰霊祭

10月1日、富屋地区遺族会と富屋地区連合自治会の共催による富屋地区戦没者慰霊祭が、富屋地区市民センターにおいて来賓の皆様を含め26名の参加者をもって3年ぶりに開催されました。なお、今回の慰霊祭は、石井康方伝法寺住職に御導師を務めて頂き仏式で行われました。

式辞や慰霊のことばなどを話された方の誰もが、戦争の悲劇を次の世代に語り継ぐことの大切さとともに、ロシアによるウクライナ侵攻に触れ、恒久平和の実現に向けて取り組むことの必要性を話されていました。



公園を花でいっぱい！ 下町老人会

下町老人会（天野睦子会長）では、女性会員を中心に、月初めの一日に富屋村役場跡地の公園に集まり、それぞれが自宅から持ち寄った花苗を植えたり、除草したりして、季節の花でいっぱいの気持ちよい公園づくりをしています。

取材で伺った11月1日(火)は、咲き終わったマリーゴールドや百日草を取り除いたり、除草をしたりと約1時間の作業で、公園はすっきりと、そして菊の花が引き立つ秋の装いになりました。

市公園緑地課から公園の管理を委託されての活動ですが、持ち寄った苗が花を咲かせたことに喜び、作業を進めるにつれて公園がきれいになっていくことにやりがいを感じて、皆さん生き生きと活動していました。そして何より、月に一度みんなで顔を合わせて作業することを楽しんで活動していました。



富屋地区のデータ

(令和4年11月末現在)

世帯数 1,598世帯
総人口 3,420人
男性 1,623人
女性 1,797人

今後の主な事業計画

1月8日(日) 二十歳を祝う成人のつどい
1月9日(祝) タコあげ大会
1月15日(日) 不法投棄パトロール
1月21日(土) まちづくり懇談会
2月26日(日) 防災訓練
地域(富屋)学講座

編集・発行

富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321-2116
宇都宮市徳次郎町80番地2
(富屋地区市民センター内)
☎028-665-0002, 1663